

## レッドデータブック カテゴリー

レッドデータブックカテゴリー（環境庁 1997）	大分県版RDB(2001) 「略号」
<p>「絶滅(EX)」 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種</p>	
<p>「野生絶滅(EN)」 飼育・栽培下でのみ存続している種</p>	「野生絶滅」
<p>絶滅危惧 = 絶滅のおそれのある種</p> <p>「絶滅危惧 類(CR + EN)」 絶滅の危惧に瀕している種</p> <p>「絶滅危惧 A類(CR)」 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種</p> <p>「絶滅危惧 B類(EN)」 A類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種</p> <p>「絶滅危惧 類(VU)」 絶滅の危険が増大している種</p>	<p>「 A」</p> <p>「 B」</p> <p>「 」</p>
<p>「準絶滅危惧(NT)」 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種</p>	「準」
<p>「情報不足(NT)」 評価するだけの情報が不足している種</p>	「情報不足」
<p>付属資料「絶滅のおそれのある地域個体群(LP)」 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群</p>	「地域個体群」

環境庁（1997）のカテゴリーの内容説明は、環境庁編集のレッドデータブック（2000）等に詳しく掲載されている。なお、環境庁のカテゴリーについても比較のため、本書では略号を用いた箇所がある。